

2024年 1 月期 第 2 四半期 決算説明会

株式会社 シーイーシー (9692)
2023年9月13日

1. 2024年1月期 第2四半期経営成績

2. 2024年1月期 通期業績見通し

3. Appendix

1. 2024年1月期 第2四半期経営成績





2. 2024年1月期 通期業績見通し

3. Appendix

2024年1月期 第2四半期 業績ハイライト

- 主要顧客のDX需要増加に伴い、システム開発案件が好調に推移し増収増益
- 営業利益と経常利益は過去最高を更新も、前年度の特別利益計上の反動減※

(単位：百万円)

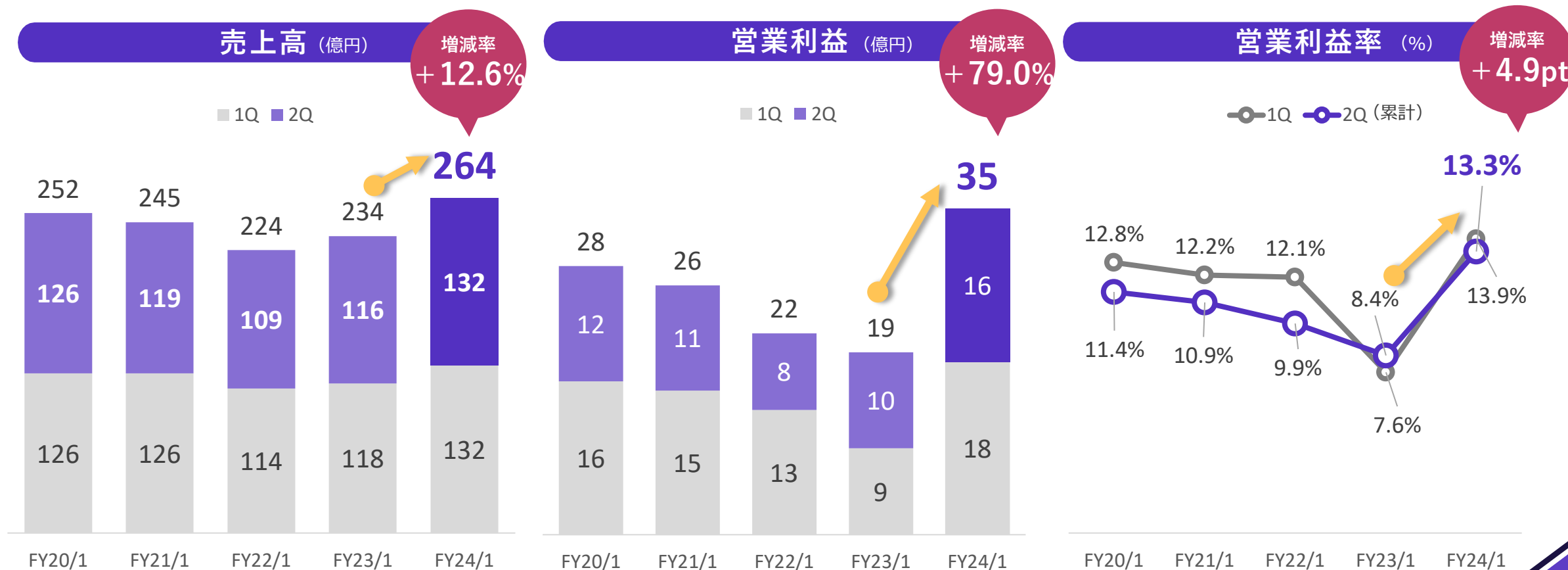
	2023年1月期 第2四半期	2024年1月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	23,478	26,445	+2,967	+12.6%
営業利益	1,969	 3,525	+1,555	+79.0%
同率	8.4%	 13.3%	+4.9pt	—
経常利益	1,988	 3,549	+1,560	+78.5%
同率	8.5%	 13.4%	+4.9pt	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,495	2,452	▲1,043	▲29.9%
同率	14.9%	9.3%	▲5.6pt	—

※2023年1月期 第2四半期に投資有価証券売却益を特別利益に計上

上期業績推移

※注力事業領域の説明についてはAppendixに詳細を記載しております

- 売上高は注力事業※および主力事業が伸長し増収
- 営業利益は増収による増益、自社ソリューション拡販、受注損失引当金計上の反動増により増益
- 営業利益率は1Qで顧客の期末需要と高収益案件の増加により上昇も、2Qは通常水準に戻る



連結営業利益の主な増減要因

(単位：百万円)



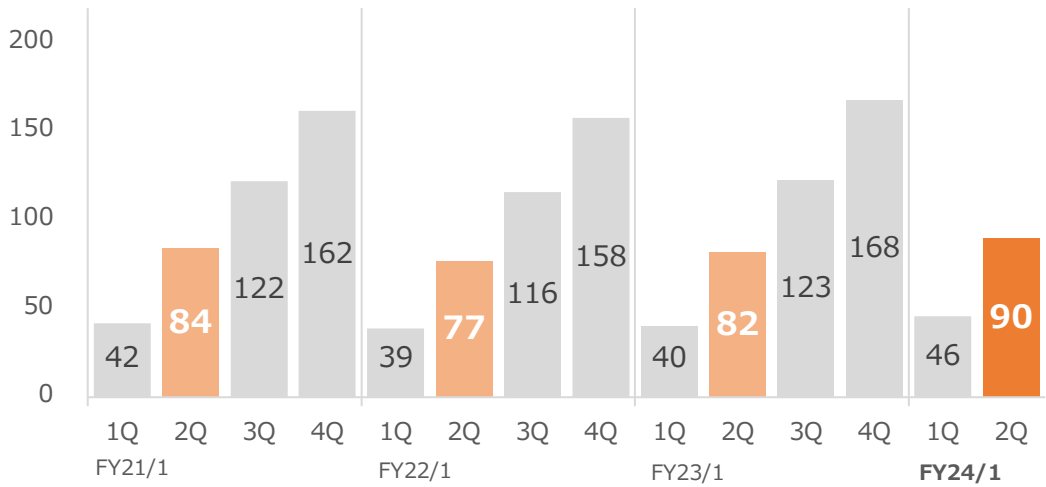
事業セグメント別前年比較

- デジタルインダストリーは、製造業顧客のICT投資増加により増収増益
 - サービスインテグレーションは、セキュリティ自社製品の前倒し計上やICTインフラ構築事業の伸長により増収、営業利益は増収効果や「受注損失引当金」の反動増により増益
- (単位：百万円)

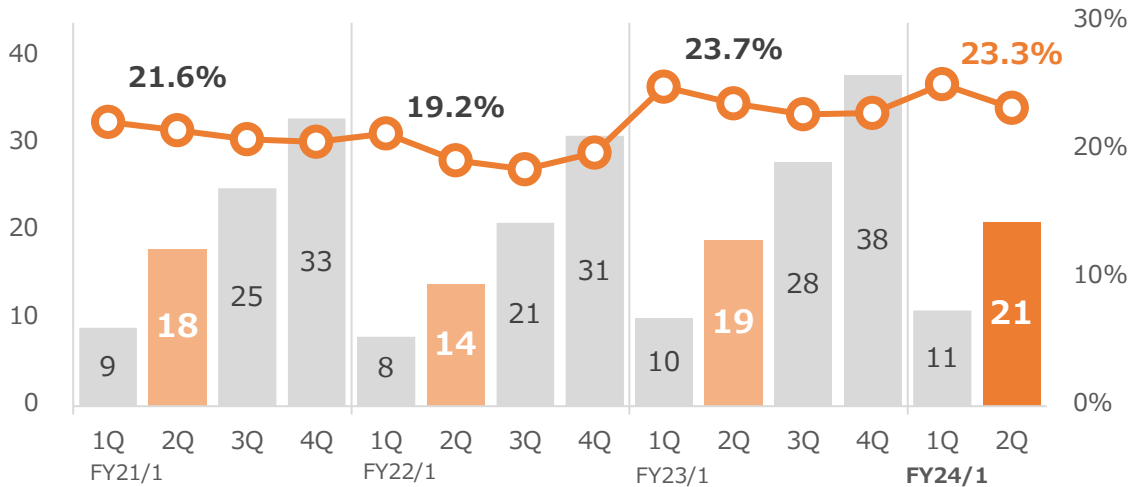
	2023年1月期 第2四半期		2024年1月期 第2四半期		増減額	
	売上高	営業利益 同率	売上高	営業利益 同率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー	8,260	1,961 23.7%	9,052	2,109 23.3%	+792 (+9.6%)	+148 (+7.6%)
サービス インテグレーション	15,218	2,066 13.6%	17,393	3,524 20.3%	+2,175 (+14.3%)	+1,457 (+70.5%)
全社費用	—	▲2,058	—	▲2,108	—	▲50
合計	23,478	1,969 8.4%	26,445	3,525 13.3%	+2,967 (+12.6%)	+1,555 (+79.0%)

デジタルインダストリー事業

■ 売上高 (億円)



■ 営業利益・営業利益率 (億円・%)

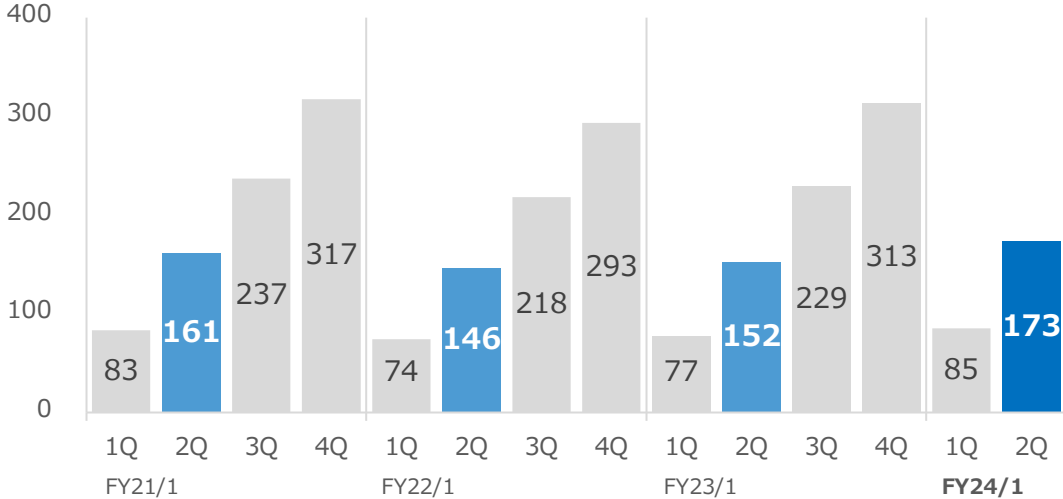


事業区分	売上高 増減率	利益 増減率	ポイント
スマートファクトリー			●製造業DX商談は増加傾向も、製品販売は伸び悩み、売上利益ともに横ばい
コネクティッドサービス			●コネクティッド関連のクラウド開発や、自動車関連のビッグデータ分析が好調に推移 ●検証サービスも自動テストや CI/CD 構築へのシフトが進み大きく伸長
中部サービス			●主要顧客の基幹系システム開発が増加し、開発案件（設計やファイナンス分野）が伸長 ●前年は顧客の期末需要増であったが、今期は通常の利益水準に戻る
西日本サービス			●物流ソリューションの伸長に加え、システム開発（医療系やEOSサービス）が増加

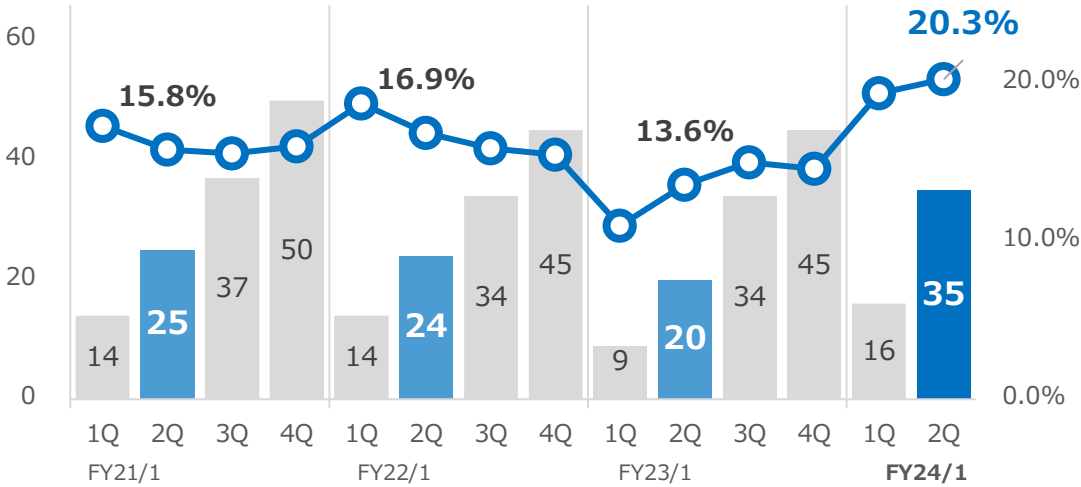
+10%以上 +5~10%未満 ±5%未満 ▲5~10%未満 ▲10%以上

サービスインテグレーション事業

■ 売上高 (億円)



■ 営業利益・営業利益率 (億円・%)



事業区分	売上高 増減率	利益 増減率	ポイント
サービスインテグレーション			<ul style="list-style-type: none"> ●金融向け開発は横這いも注力事業のマイクロソフト連携は新規顧客増加により売上利益ともに伸長 ●マイグレーションニーズはクラウド化やセキュリティ強化を目的とした商談が多く好調に推移
プラットフォームアーキテクト			<ul style="list-style-type: none"> ●注力事業のセキュリティは、官公庁向け自社製品が下期から前倒し計上となり売上利益を底上げ ●ICTインフラ構築は運用を絡めた需要の拡大と半導体供給の正常化も伴い売上利益ともに伸長
グループ会社			<ul style="list-style-type: none"> ●主要顧客によるニアショア開発商談や運用案件が増加し、売上利益ともに伸長

+10%以上
 +5～10%未満
 ±5%未満
 ▲5～10%未満
 ▲10%以上

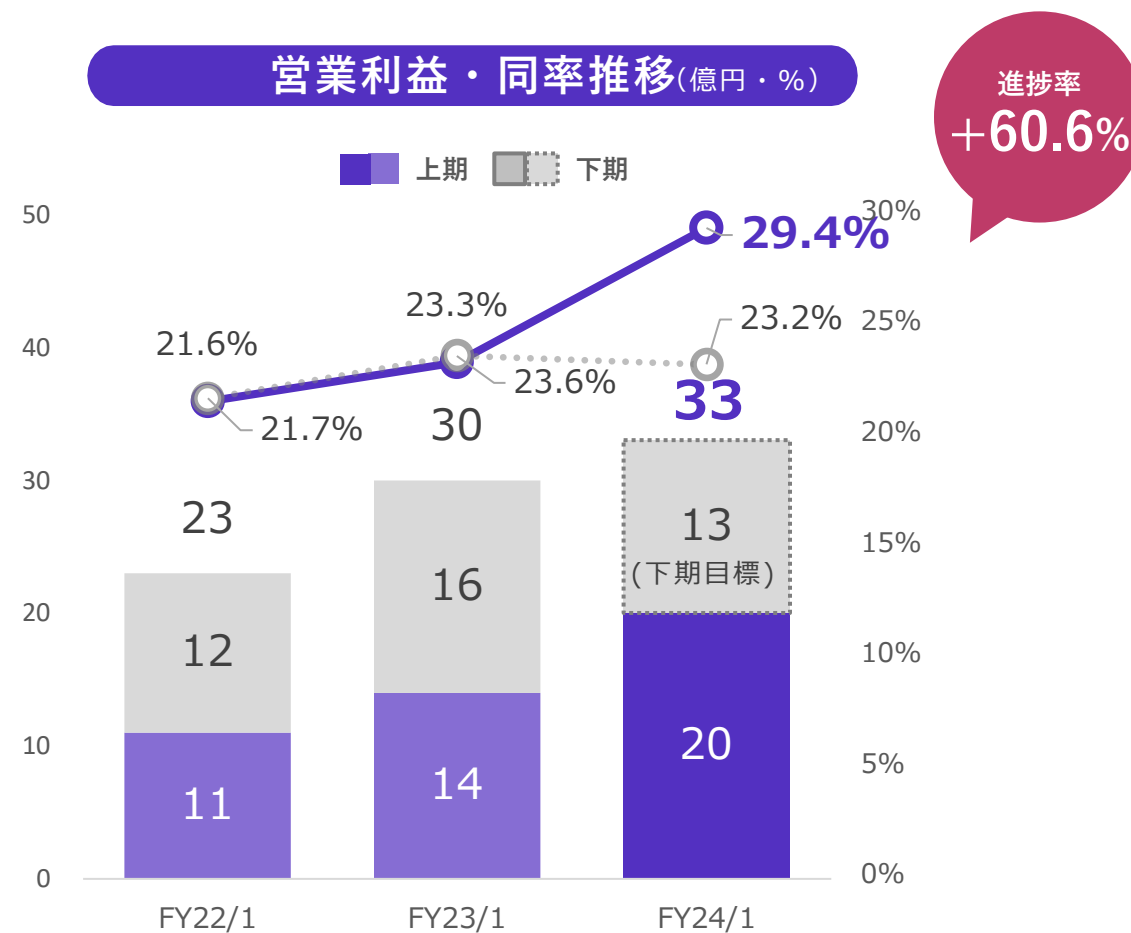
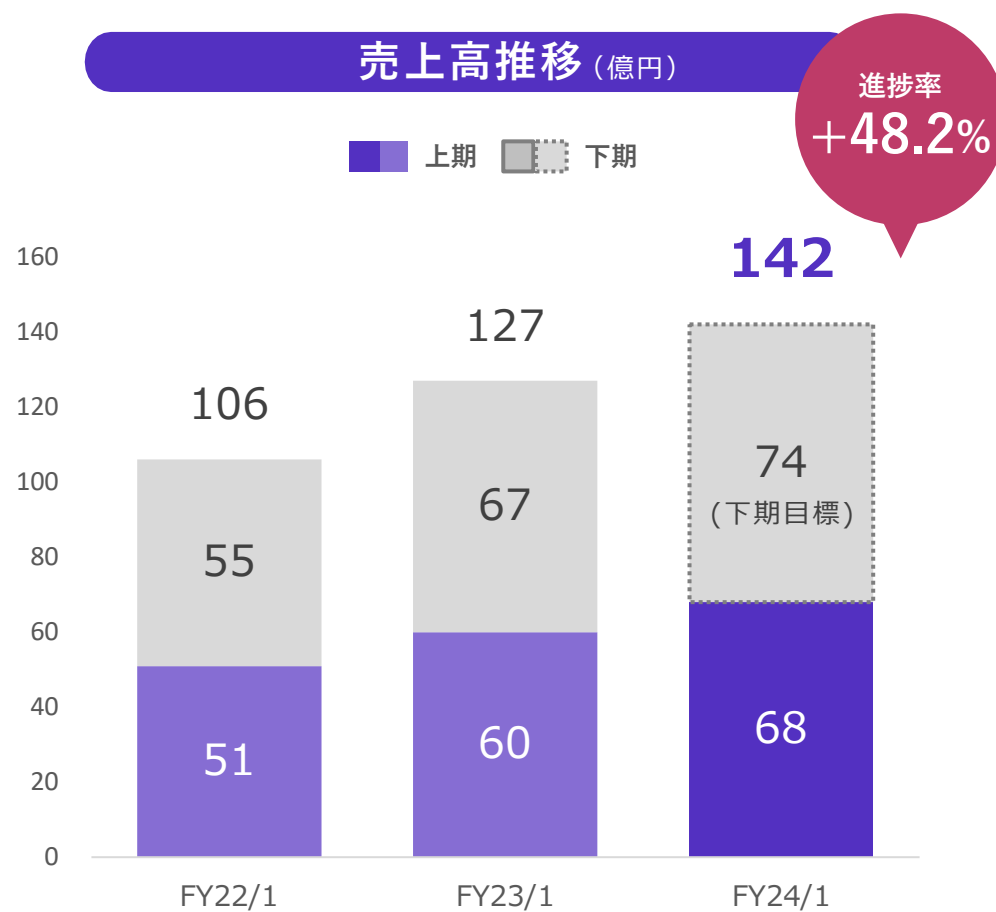
注力事業の概要

■ 進捗状況は各領域で濃淡あり、上期においては**モビリティ・マイグレーション**がリード

デジタルインダストリー	生産・物流ソリューション	対通期売上 目標進捗率 47.0%	<ul style="list-style-type: none"> ●生産：製品販売の伸び悩みにより進捗率は遅れ気味、製造業DX商談は増加傾向 ●物流：自社物流ソリューションが活況、物流問題を背景に商談も増加傾向
	モビリティサービス		<ul style="list-style-type: none"> ●クラウド開発や、自動車関連のビッグデータ分析案件が好調に推移 ●ビッグデータ分析は車の情報(CAN)や位置情報分析が増加し、商談規模が大型化
サービスインテグレーション	マイクロソフト連携サービス	対通期売上 目標進捗率 49.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●Dynamics365／PowerPlatformは新規顧客の大型商談があり伸長 ●生成AI関連サービス商談が増加しており、AI研究を軸に社内研究も推進
	マイグレーションサービス		<ul style="list-style-type: none"> ●マイグレーションニーズはクラウド化やセキュリティ強化を目的とした商談が多く好調 ●ベンダーのメインフレーム撤退やUNIX撤退、WindowsServer2012サポート終了に伴う商談が増加
	セキュリティサービス		<ul style="list-style-type: none"> ●官公庁向けセキュリティ自社製品の大型商談を獲得し売上利益を底上げ ●自治体の強靱化の更新需要は落ち着き仕入販売は減少もセキュリティ需要は拡大
	DXクラウド基盤		<ul style="list-style-type: none"> ●顧客ニーズや製品差別化によるサービス構成の検討、対象領域の拡大を含め、方針を再検討中

注力事業の概要

- 売上は計画どおりに進捗、営業利益（率）は通期目標に対し進捗は良好
- セキュリティ自社製品の前倒し計上により売上・利益ともに上期実績を底上げ



受注高・受注残高の推移

デジタルインダストリー サービスインテグレーション

受注高

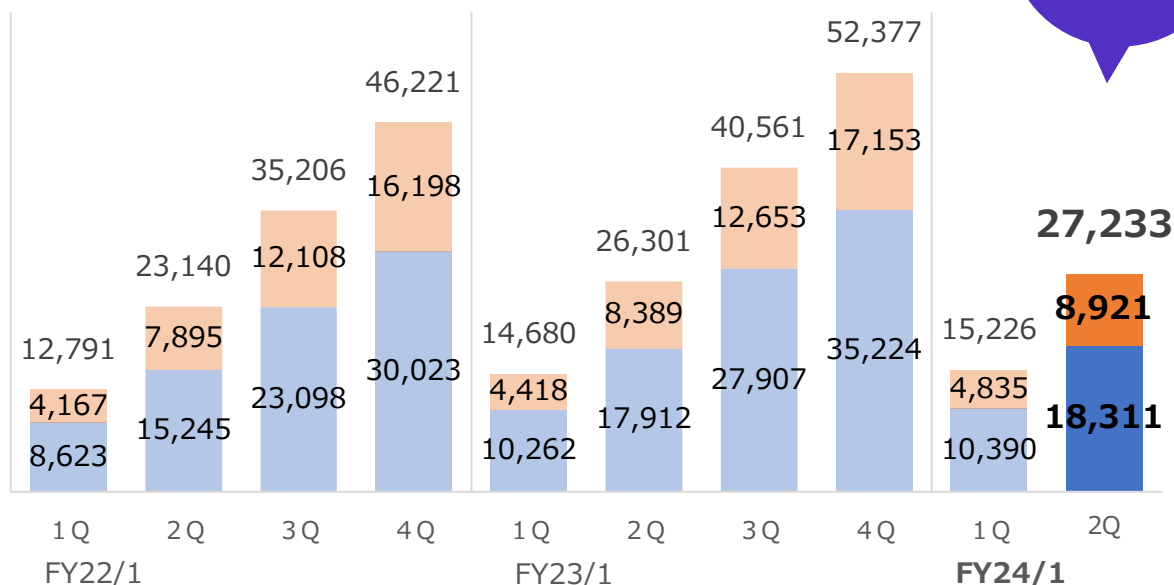
- 製造業向けシステム開発やコネクティッド開発案件が伸長
- 注力事業のマイグレーションやマイクロソフト連携、主力事業のICTインフラ構築が伸長

受注残高

- 製造業向けシステム開発案件が伸長
- データセンター事業における長期大型運用案件、セキュリティ、マイクロソフト連携案件により増加

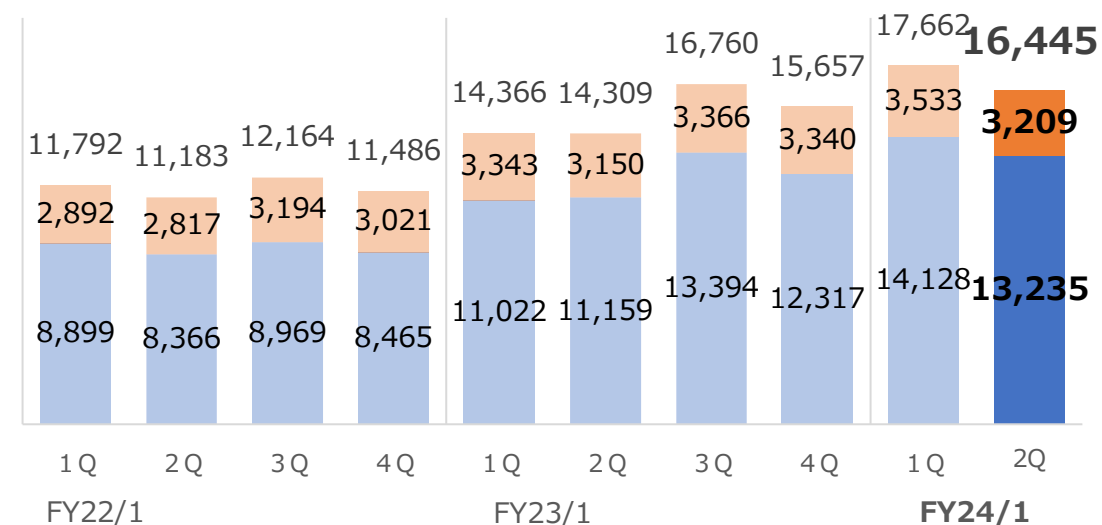
受注高 (百万円)

対前年
増減率
+3.5%



受注残高 (百万円)

対前年
増減率
+14.9%



業種別売上高前年比較

(単位：百万円)

	2023年1月期 第2四半期	2024年1月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
製 造 業 (構 成 比)	10,331 (44.0%)	11,423 (43.2%)	+1,092	+10.6%
通 信・情サビ業 (構 成 比)	6,495 (27.6%)	7,003 (26.5%)	+507	+7.8%
金 融 業 (構 成 比)	2,321 (9.9%)	2,436 (9.2%)	+115	+5.0%
流 通 業 (構 成 比)	1,314 (5.6%)	1,539 (5.8%)	+224	+17.1%
官 公 庁 (構 成 比)	933 (4.0%)	1,946 (7.4%)	+1,012	+108.5%
そ の 他 (構 成 比)	2,082 (8.9%)	2,096 (7.9%)	+14	+0.7%
合 計	23,478 (100%)	26,445 (100%)	+2,967	+12.6%

業種別のポイント
【製 造】 <ul style="list-style-type: none"> ・ システム開発案件が伸長 ・ ICTインフラ構築案件が伸長
【通信・情サビ】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大手キャリア向け ICTインフラ構築案件が伸長
【金 融】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要顧客の大型案件延伸 ・ 商談規模の縮小化
【流通】 <ul style="list-style-type: none"> ・ マイグレ案件が伸長 ・ マイクロソフト連携が伸長
【官公庁】 <ul style="list-style-type: none"> ・ セキュリティが伸長 ・ システム開発案件が伸長

連結貸借対照表期初比較

(単位：百万円)

	2023年 1月末	2023年 7月末	増減額	増減率
流動資産	35,208	36,662	+1,453	+4.1%
うち現金及び預金	23,302	25,392	+2,090	+9.0%
固定資産	11,124	10,923	▲201	▲1.8%
総資産	46,333	47,585	+1,251	+2.7%
流動負債	8,311	7,519	▲791	▲9.5%
固定負債	642	669	+26	+4.2%
自己資本	37,309	39,370	+2,061	+5.5%
自己資本比率	80.5%	82.7%	—	+2.2pt

ポイント
【資産】 増加 現預金の増加
【負債】 減少 受注損失引当金の減少
【自己資本】 増加 利益剰余金の増加

不採算案件の状況と不採算抑止策について

■ 不採算案件の状況

- 2024年1月期2Qでシステムの繁忙期も安定稼働を確認
- 体制を適正化のうえ、増強した環境で通常の運用フェーズへ移行

■ 不採算抑止策について

不採算発生を抑止策

- 受注時チェック項目の細分化やリスク対策内容の厳格化
- プロジェクト進捗の可視化で警戒アラートの早期発出

問題発生時の早期改善策

- 問題発生時の全社対応スキームの再構築
- プロジェクトへ第三者を投入する判断基準の標準化

1. 2024年1月期 第2四半期経営成績

2. 2024年1月期 通期業績見通し

3. Appendix

2024年1月期 通期業績予想修正

- DX推進を背景に顧客のICT投資需要は増加傾向にあるため、通期業績を**上方修正**
- 物価上昇や海外景気後退の懸念は残るが、通期目標の達成をめざす

(単位：百万円)

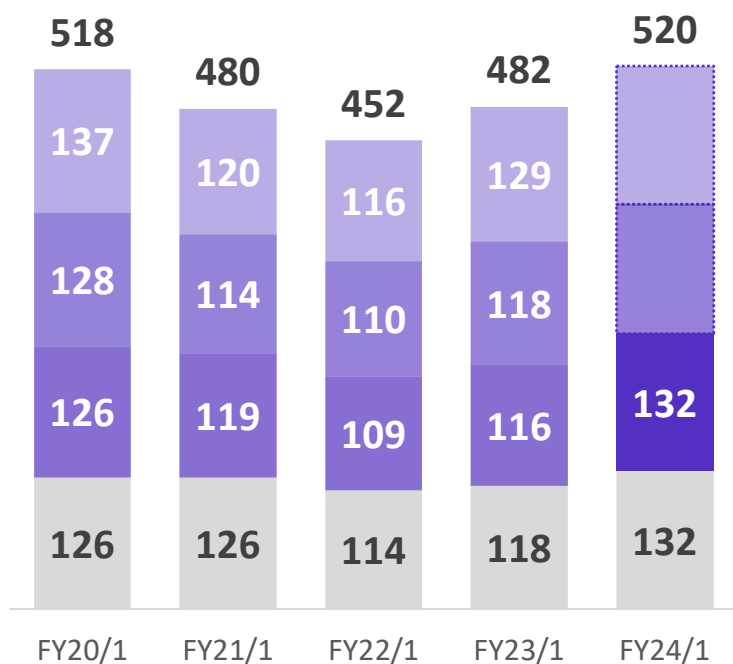
	2024年1月期 前回予想	2024年1月期 今回予想	前回予想比		前期比		
			増減	増減率	2023年1月期	増減	増減率
売上高	51,000	52,000	+1,000	+2.0%	48,206	+3,793	+7.9%
営業利益	5,550	6,070	+520	+9.4%	4,374	+1,695	+38.8%
同率	10.9%	11.7%	+0.8pt	—	9.1%	+2.6pt	—
経常利益	5,570	6,100	+530	+9.5%	4,413	+1,686	+38.2%
同率	10.9%	11.7%	+0.8pt	—	9.2%	+2.5pt	—
当期純利益	3,840	4,200	+360	+9.4%	5,179	△979	△18.9%
同率	7.5%	8.1%	+0.7pt	—	10.7%	△2.6pt	—

通期業績推移

- セキュリティ自社製品が今期3Qから2Qに前倒し計上となったが、その影響を除けば下期業績は期初の計画通りに推移と予想
- 中期経営計画2年目の今期は、注力事業と主力事業の両輪で目標達成に向け事業活動を強化

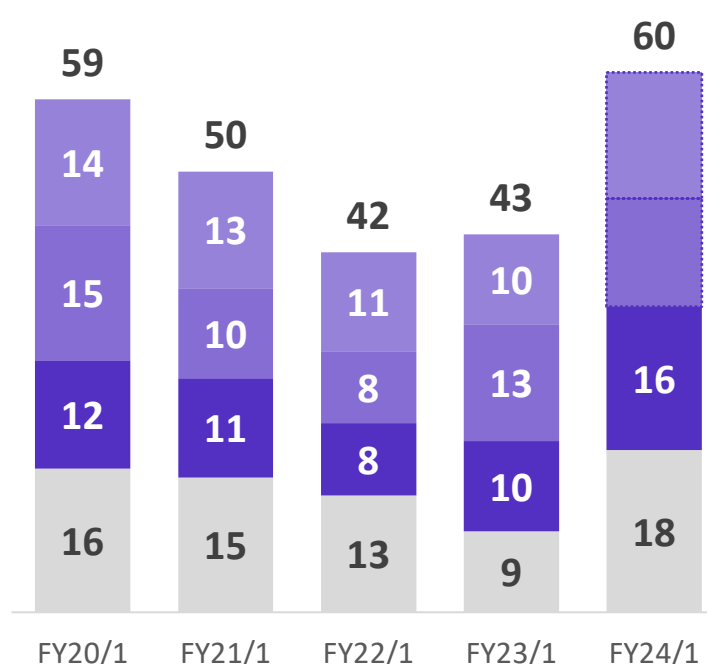
売上高 (単位：億円)

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



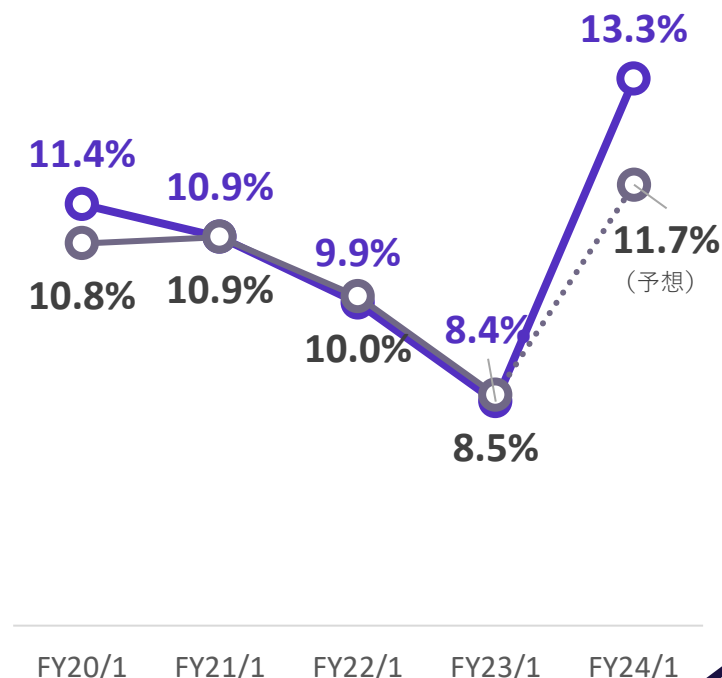
営業利益 (単位：億円)

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



営業利益率 (単位：%)

○ 上期累計 ○ 通期累計



事業セグメント別通期業績予想

- デジタルインダストリー：注力事業のモビリティは引き続き好調継続の見込み
- サービスインテグレーション：注力事業、主力事業ともに堅調な見通し

(単位：百万円)

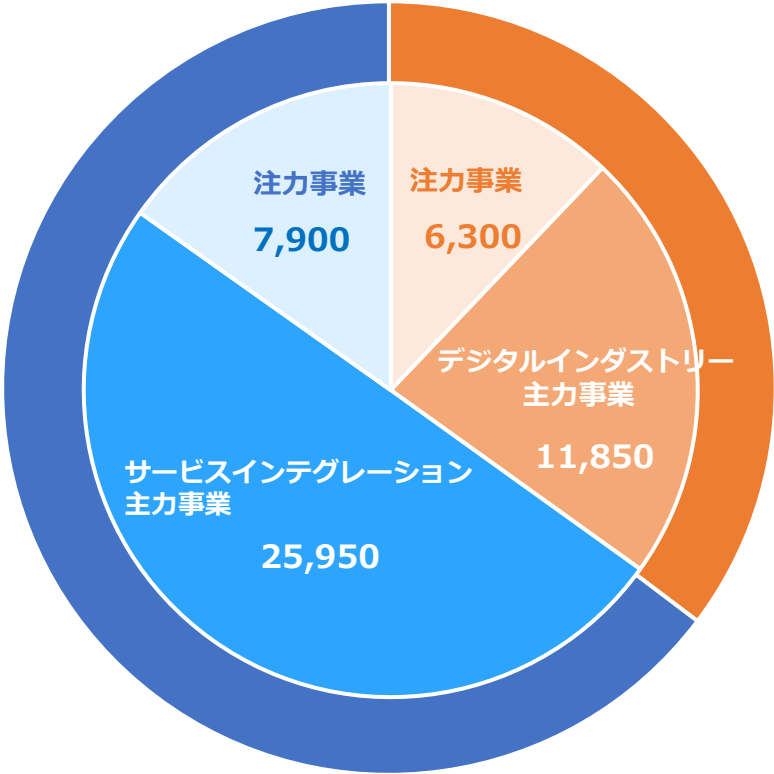
	2024年1月期 前回予想		2024年1月期 今回予想		増減額	
	売上高	営業利益 同率	売上高	営業利益 同率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー	18,000	4,000 22.2%	18,150	4,150 22.9%	+150 (+0.8%)	+150 (+3.8%)
サービス インテグレーション	33,000	5,600 17.0%	33,850	6,120 18.1%	+850 (+2.6%)	+520 (+9.3%)
全社費用	—	▲4,050	—	▲4,200	—	▲150
合計	51,000	5,550 10.9%	52,000	6,070 11.7%	+1,000 (+2.0%)	+520 (+9.4%)

事業セグメント別通期業績予想

■ 売上高・営業利益予想（単位：百万円）

		2024年1月期 第2四半期	2024年1月期	
			通期予想	進捗率
デジタルインダストリー事業	売上高	9,052	18,150	49.9%
	営業利益	2,109	4,150	50.8%
内、注力事業	売上高	2,958	6,300	47.0%

		2024年1月期 第2四半期	2024年1月期	
			通期予想	進捗率
サービスインテグレーション事業	売上高	17,393	33,850	51.3%
	営業利益	3,524	6,120	57.6%
内、注力事業	売上高	3,923	7,900	49.7%



（2024年1月期 事業セグメント別売上目標）

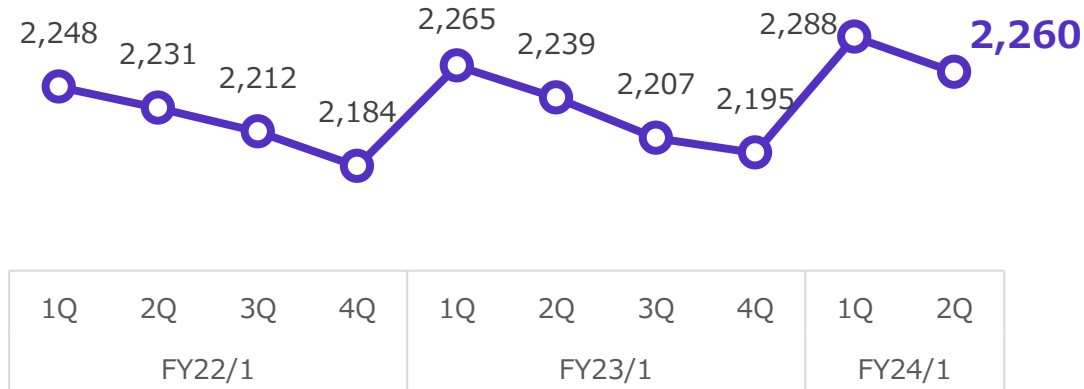
1. 2024年1月期 第2四半期経営成績

2. 2024年1月期 通期業績見通し

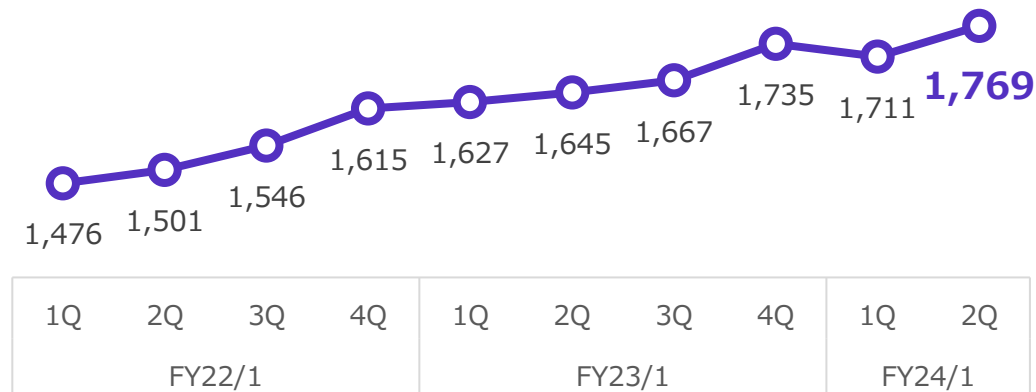
3. Appendix

その他の指標

■ 従業員数の推移 (単位: 人)

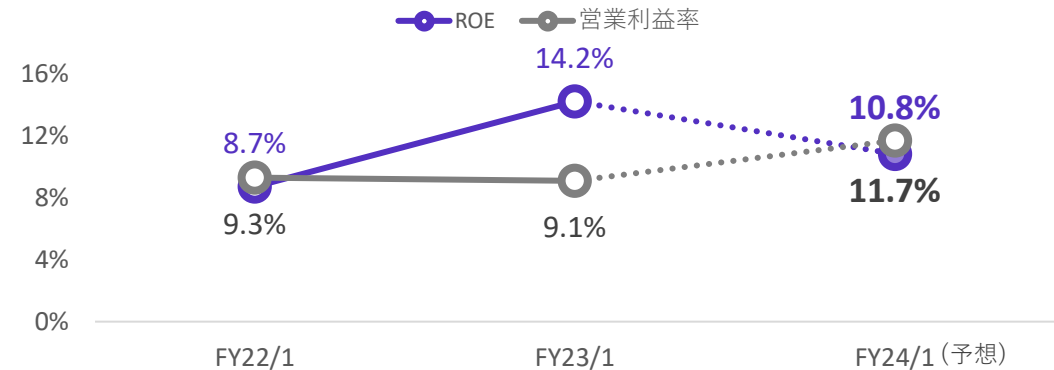


■ パートナー人数の推移 ※¹ (単位: 人)

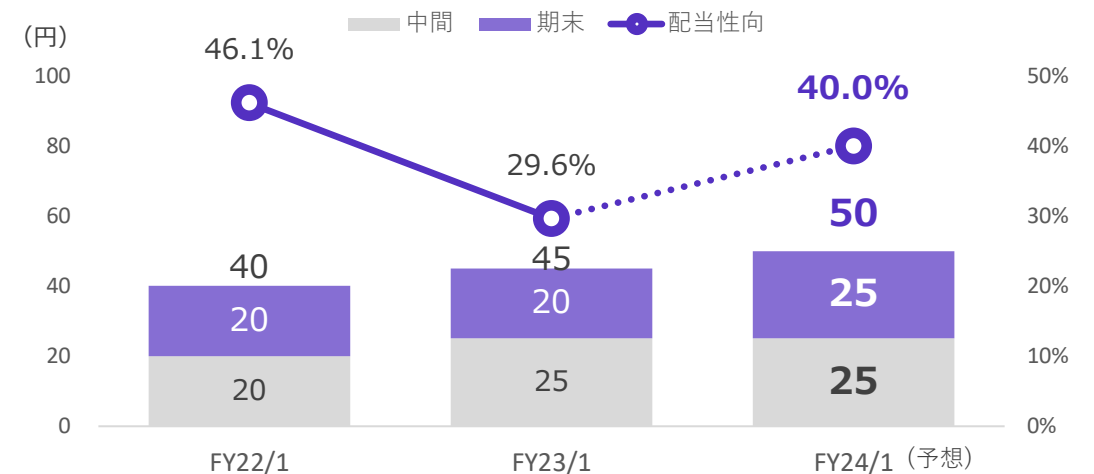


※¹シーイーシー<単体> 請負契約含めず

■ ROE・営業利益率推移 ※²



■ 配当性向および配当金推移 ※²

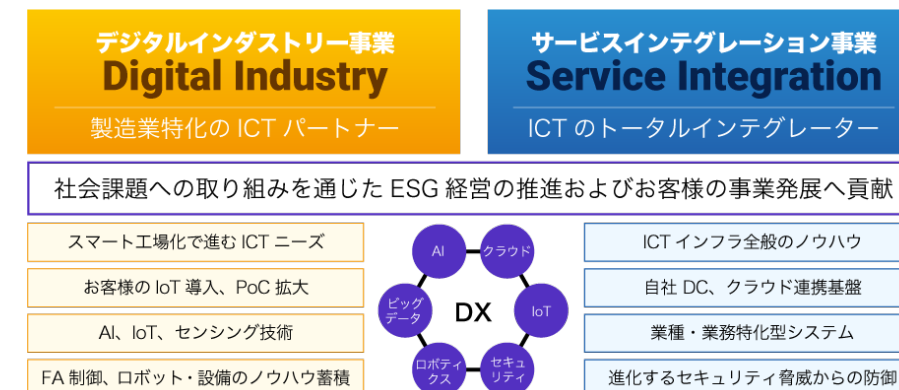


※²2023年1月期 上期は投資有価証券売却による特別利益を計上し5円増配

名 称	株式会社シーイーシー Computer Engineering & Consulting Ltd.
設立年月日	1968年2月24日
上場取引所	2022年4月（プライム市場） 2001年7月（東証一部）
資本金	65億8千6百万円
売上高	482億6 百万円（2023年1 月期）
各種許認可	<ul style="list-style-type: none"> ■経済産業省システム監査企業台帳登録企業 ■経済産業省情報セキュリティサービス台帳登録企業 ■プライバシーマーク認定事業者11820032（12） ■JQA認定 <ul style="list-style-type: none"> ・品質マネジメントシステム ISO9001:2015（登録証番号JQA-1481） ・情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27001（登録証番号JQA-IM0007） ・クラウドサービス情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27017（登録証番号JQA-IC0040） ・ITサービスマネジメントシステム ISO/IEC20000（登録証番号JQA-IT0005） ・環境マネジメントシステム ISO14001:2015（登録証番号JQA-EM7701） ■電気通信工事業 国土交通大臣（般-4）第28700号 （許可年月日：2022年11月21日）

従業員数	2,260名（2023年7月31日現在）
連結子会社	8 社
本社事務所	〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル
代表者	代表取締役社長 姫野 貴
事業内容	<p>■デジタルインダストリー事業</p> <p>製造業のお客様を中心に、業務の効率化や品質の向上、魅力ある製品づくりを支援するICTサービス・製品を提供</p> <p>■サービスインテグレーション事業</p> <p>企業・組織の業務改革・改善に必要な、ICTライフサイクル全般を支援クラウド、セキュリティ含むICTサービス・製品をトータルで提供</p>

<サステナブルな社会実現に貢献する2つの事業>



Vision 2025 「ICT技術で未来を創る企業」へ



	売上高	経常利益	経常利益率	ROE・配当性向
経営指標の目標値	560億円	69億円	12%以上	ROE：12%以上 配当性向：40%以上

Digital Industry 製造業特化のICTパートナー

スマートファクトリー

- 製造業の生産物流分野を対象とする製品企画、製品開発・システム開発、保守、ソリューションサービス業務

コネクティッドサービス

- モビリティを中心とした IoT コネクティッド分野に関するコンサルティング・システム開発・保守運用、ソリューションサービス業務
- 車載機器を中心とした組み込みソフトウェア開発に関する業務
- 自動テスト、CI/CD 構築などの品質ソリューションに関する業務

中部サービス

- 自動車産業を対象とする技術情報部門（部品表／PDM／CAD）、企業情報部門（販売／ファイナンス／経理）、企業情報部門（人事／生産物流）のICTサービス全般

西日本サービス

- 関西・北陸エリアの業務SI、およびEOSソリューションを活用したSIサービスを提供
- 物流・製造領域の IoT 分野を中心とした商品の企画・開発・保守・運用業務・製品サービスの提供
- FA／産業機器、医療ヘルスケア分野を中心としたシステム開発・検証・保守・運用・導入サービスの提供

Service Integration ICTのトータルインテグレーター

サービスインテグレーション

エンタープライズ

- マイクロソフト社のDynamics365、Microsoft365、Azure等のクラウドを活用したコンサル・システム開発・保守運用業務
- 官公庁、自治体向けソリューション・システム開発・保守運用業務

AXサービス

- マイグレーションサービスを活用したICTモダナイゼーションに関するコンサルティング・システム開発・保守運用業務

ビジネスシステム

- 銀行・保険・クレジットカード・証券・リースなど金融分野を対象としたシステム開発・保守運用業務

プラットフォームアーキテクト

セキュリティ

- 各種セキュリティサービス、セキュリティ機器の監視・運用業務
- 認証技術を基盤としたオフィスセキュリティに関する製品開発・販売、ソリューションサービス、システム開発・保守運用業務

プラットフォーム

- ICTインフラ構築およびクラウドサービスの企画検討、設計・構築・移行・運用までライフサイクルマネジメント全般に関する業務

データセンター

- データセンターサービス、クラウドサービスに関する業務
- システムの運用設計・導入支援・運用管理サービスに関する業務

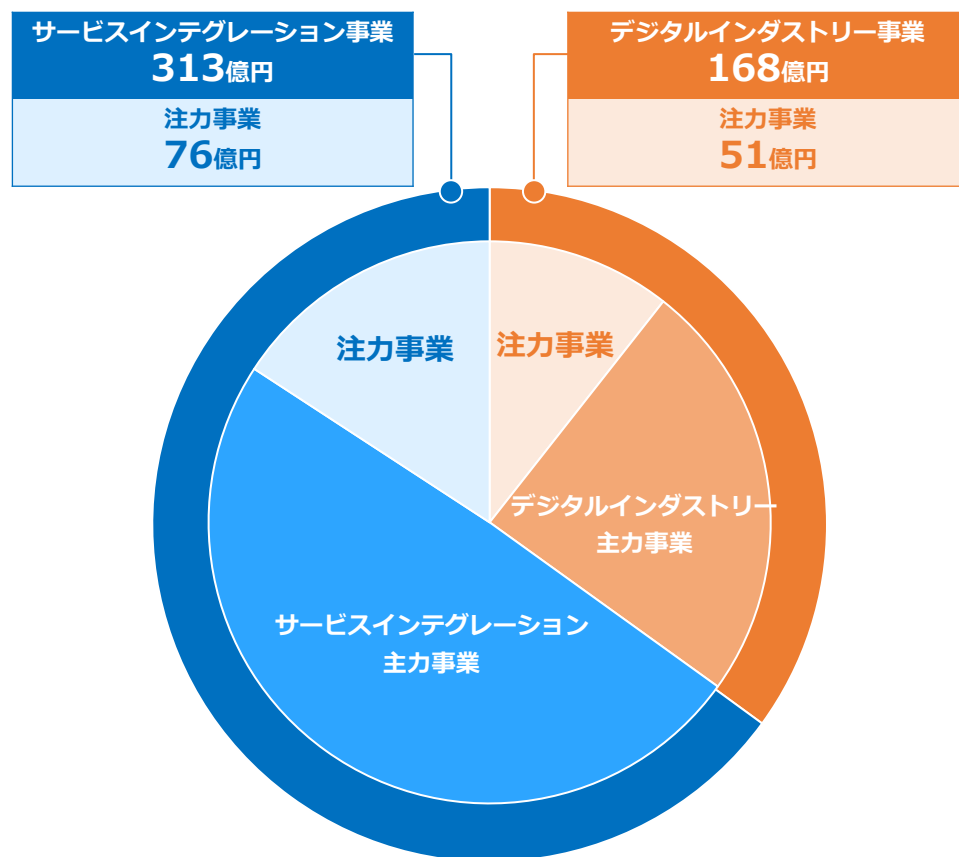
グループ会社

フォーサイトシステム など

- ニアショア開発・構築・保守運用業務
- 人材派遣サービス

注力事業について（2023年1月期実績）

全社売上482億円



注力事業：独自の特長を生かした事業分野

デジタルインダストリー事業	生産・物流	Visual Factory® LogiPull®	製造業向けの製品サービスに加え、物流ソリューション「LogiPull」を追加し、生産現場から物流までのデジタル化支援・DX戦略支援を行う
	モビリティ	PlusLocation. SimuField®-SC	主に自動車業界のコネクティッド分野における車載／交通ビッグデータを活用したサービスを展開する
サービスインテグレーション事業	マイクロソフト連携	Convergent® <small>マイクロソフトクラウドサービス統合ソリューション</small>	マイクロソフト社との連携ビジネスを推進、主にDynamics365／Azure基盤の経営分析・マーケティングでDXを支援する
	マイグレーション	Re@nove® リノープ <small>マイグレーションサービス</small>	レガシーICT刷新、クラウド移行やシステム・アプリ環境のDXを支援する
	セキュリティ	CyberNEXT® SmartSESAME <small>トータルセキュリティソリューション オフィスセキュリティソリューション スマートセサメ</small>	ネットワークに繋がるICT要素をセキュリティの脅威から防御する製品群を保有し、セキュリティのコンサル・設計・構築・運用サービスを行う
	クラウド基盤	BizVision®	クラウドプラットフォームに自社製品のアプリケーションを載せクラウド化を推進

- ✓ 本資料は、投資を勧誘することを目的として作成されたものではありません。
- ✓ 本資料に含まれる将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他本資料作成時点において入手している情報による判断および仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により変動する可能性があることをご承知おきください。
- ✓ 本資料の記載内容は、当社の許諾を得ずに複製または転記、転載等を行わないようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

株式会社シーイーシー

コーポレート統括本部 事業推進本部 経営企画部 IR担当

TEL : 03-5789-2442

コーポレート統括本部 管理本部 経理部 IR担当

TEL : 046-252-4111

E-mail : IR@cec-ltd.co.jp